

BUSINESSフィールド

(株)ユナイテッドソーラー

次世代の再生可能エネルギー ～バイオガス発電～

福岡市博多区に本社を置く、(株)ユナイテッドソーラーは2011年の設立以降、太陽光発電システム全般の販売を手掛けメガソーラーから家庭用まで幅広いラインナップとノウハウを背景に営業基盤を形成している。

太陽光発電は経済産業省が決めるFIT(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)の買取価格が初年度40円/kW(メガソーラーなど企業向けの場合)に対し、2019年4月現在14円/kWまで減少している。これによるブーム沈下の中で、当社はバイオガス発電に着目した。

バイオガス発電は食品残渣(ざんさ)・豚、牛の糞尿等を発酵させメタンガスを精製。そのガスを利用しガスエンジンを起動・発電するもので、天候に関係なく24時間365日発電可能な仕組み。FITは20年固定39円/kWと高単価で、特に、豚糞尿のバイオガス発生量 $21\text{ m}^3/\text{t}$ に対し、食品残渣は $171\text{ m}^3/\text{t}$ と7倍超で高い発電効率が見込まれる。加えて、家庭生ゴミ、廃油脂、油粕、ビール粕、焼酎粕等多様な廃棄物を原料とする事が可能となっている。

日本に於ける食品廃棄物は年間2,842万t、内食品ロス(本来食べられるのに捨てられる食品)は646万tで、毎日10tトラックでは1,770台分、一人当たり年間では51kgにのぼる(2015年度国連世界食糧計画・WFP推計より)。

川本社長は「従来のシステムでは原料が大量にある事と数10億円単位のプラントが必要だったが、当社が扱う小規模式メタンガス発電では排出量が数トンレベルの中小事業者の導入も充分可能である為、様々な事業者の方にお問い合わせ頂ければ幸い。これまで廃棄・処理に掛かっていた費用を削減出来るうえ売電ビジネスにもなる。環境にもやさしいシステムであり、業界全体で注目されている」と語った。



株式会社 ユナイテッドソーラー

代表取締役 : 川本 良則

住 所 : 福岡市博多区豊1-6-25

T E L : 092-461-8811

F A X : 092-461-8801